

# 平成5年度 三翠化学会総会

## 三翠化学会

(題字は稲川先生)

第38号 発行  
平成5年3月31日  
三翠化学会  
津市上浜町1515  
三重大学農芸化学コース内  
電話/津(0592)32-1211  
振替/名古屋9-5934  
印刷/株式会社あるむ  
TEL(052)832-0861 大8長谷川正一

### 初代会長 鳴林幸英先生 退官祝賀会開催

三翠化学会も新会員を迎えます  
まずまず発展しつつあり、ご同慶  
の至りであり、ご同慶  
には日頃会の運営のため多大の  
お力添え頂き、厚く御礼申し上  
げます。さて、平成5年度三翠  
化学会総会を左記のように開催  
させて頂き、万障お繰り  
合わせの上、ご参加下さいませ。  
当日は、初代会長として、三  
翠化学会の創設に御尽力頂き会  
の基礎を固められた鳴林幸英先

生が退官されたことをお祝い  
し、退官祝賀会を恒例の懇親会  
と兼ねて開催させて頂きます。  
奮ってご参加下さい。  
また鳴林先生には、三翠化学  
会の創設から現在に至るまでの  
お話しをして頂きます。同時に  
農学部のお話も頂けるとい  
うこととなります。ご期待下さい。  
総会では次期人事も予定され  
ております。

10時30分より受付開始  
11時～12時 総会  
12時～1時 鳴林先生講演会  
1時～3時 鳴林先生退官祝賀会及び懇親会  
場 所 津市大前七十五  
津市大前七十五  
○五九二二五二一三八五  
会 費 一万円  
三翠化学会会長 渡辺和己

### 大学7回クラス会

農芸化学科7回生は、卒業か  
ら33年、歳五才の節目の年を  
迎えたのを機に、去る10月17日、  
在学中クラス担任としてお世話  
になった奈良先生及び嶋林先生  
のお二人をお迎えして、豊橋市  
内で3年ぶりにクラス会を開催  
しました。

出席者はクラス26名の内70%  
近い17名で、速くは鹿児島から  
空路樋口氏が、また香川から列  
車を乗り継いで石原氏が駆けつ  
けるなどして、ロビー横の控え  
室に懐かしい顔が加わる度に拍  
手が起り、開会を前にして乾  
杯が何度も繰返される有様。  
今回は懇親会に先だって、特  
に嶋林先生より、先生が手すか  
ら撮影された三重大キャンパス  
の 슬라이ドを使って母校の現在  
の様子を詳しく説明して頂きま  
した。一同、33年前の光景を懐

にダバせながら、時流を捉え  
て遅く前進する母校の姿に頼  
もしさを感じた次第です。  
さて、懇親会に移り、須谷幹  
事の軽妙な司会も手伝って、お  
互いに33年前の自分に若返り、  
楽しい雰囲気になることが出来  
ました。途中、宴たけなわの折  
しも、同じホテルに偶然居合わ  
せた、土木学科の先輩四人から、  
飛び入りの申し入れと、飲物の



### 今春卒業生の 就職・進学状況

大学院博士前期課程(修士課  
程)19名、学部学生39名が修了、  
卒業します。不況で就職状況も  
変わっておりませんが、今春の  
卒業生はまだ求人が多い時に内  
定を頂いております。  
学部学生の進学率は高く、17  
名が三重大大学院に、四名が  
協賛があり、急遽クラス会を同  
窓会に切り換えると言うハブニ  
ングもあり、予定時刻を一時間  
程オーバーして、カラオケのマ  
イクと、尽きぬ話を惜しみつつ、  
宴を閉じました。  
当日は専攻教室のメンバーの  
相部屋で一泊、翌日マイクローバ  
スで秋晴れの陽光の下、潮の香  
りに包まれて渥美半島を周遊。陶  
器の絵付に興じ、伊良湖の砂浜  
を散策し、空の青、松の緑に目  
を休め、のんびりと自然に浸り  
ながら共に健康的な一日を満喫  
しました。

尚、今回のクラス会の席で、  
次回クラス会の幹事を山口氏に  
お願いし、いよいよ選任を迎え  
る、四年後の平成八年に、名古  
屋に集まろうと云う事に決まり  
ました。その時には、「是非と  
も26名全員で元気に顔を合わせ  
たい」と云うのが、今回出席者  
の総意です。  
七回生各位！健康管理に万  
全を期して、是非その快挙を達  
成しましょう。  
(平塚)

今年度の就職活動が間もなく  
始まります。同窓の皆様にはど  
うか御支援の程よろしくお願い  
申し上げます。  
平成4年度  
コース主任 高橋孝雄

大学院(博士前期課程)修了者	生物資源利用学専攻
*A, サミュエル	三重大大学院 Dr.
磯部 正樹	名古屋市役所
井上 典之	特許庁
大口 正晃	アラックス(ノーシン)
小木 曾直人	三洋化成工業
加藤 毅	財団法人食品分析センター
亀村 和生	三重大大学院 Dr.
木村 徳男	トーマテテクノロジー
小林 裕彦	京都大学大学院 Dr.
近藤 国晃	日本農業
近藤 樹	エーザイ
坂野 賀津士	王子製紙
島田 裕三	敷島製パン
中村 浩史	三菱油化
成島 謙司	就職予定
松林 幸誠	ファイザー製薬
森岡 憲正	江崎グリコ
山田 義浩	伊藤製油
*劉 軍	敷島製パン

### 農芸化学 駅伝大会 2位、3位を独占!!



生物資源学部になり、女子が  
増え大学の雰囲気もかわりまし  
たが、駅伝大会はコースを海岸  
沿いに変え、続けられており、今  
年で54回をむかえました。長野  
峠へのほり心臓やぶりの五区  
にかわり、「砂ぼり」といわ  
れる砂浜を走る区間が学生の話  
題になっています。  
今年は今々に農芸化学が活躍  
し、農芸化学大学院チームが二  
位、農芸化学三年チームが三位に  
入賞しました。  
思いおこせば、昭和五十四年、  
農芸化学三年チーム(大29)が、  
長野峠往復駅伝で優勝して以来  
の快挙であります。

岩間 希子	三重大大学院
大島 宏	名古屋大学大学院
太田 直矢	三重大大学院
尾関 宗孝	三重大大学院
梶間 丈晴	丸信製粉
神谷 美香子	ファイザー製薬
熊谷 麻由子	名古屋市立大学
桑原 希代子	敷島製パン
小澤 健一	三重大大学院
佐藤 正和	三重大大学院
芝山 賢司	金沢大学大学院
杉本 奈扶美	ファイザー製薬
鈴木 節子	竹本油脂
園田 雅俊	名古屋大学大学院
高田 悟郎	三重大大学院
竹原 宗範	京都大学大学院
坪井 真由美	サンジルス醸造
出口 知子	エステム
中上 英子	日本合成ゴム
中田 和恵	ポッカコーポレーション
中野 薫	三重大大学院
那須 智	名古屋大学大学院
服部 真由子	和光純薬工業
林 篤志	三重大大学院
林 秀謙	三重大大学院
馬場 均	三重大大学院
樋口 裕子	三菱油化(株)四日市総合研究所
菱田 浩司	三重大大学院
平田 雅之	三重大大学院
堀北 裕子	フジッコ
堀部 敦子	三重大大学院
水谷 真理	三重大大学院
渡邊 朋子	三菱油化(株)四日市総合研究所
金市 浩	三重大大学院
田中	



## クラス会だより(大15回) 五年振り 名古屋に集う

昭和42年に卒業した15回卒業生も、はや50に手の届く年齢になってきた。人生のおそらく最も忙しい時期にさしかかっていることを考慮した幹事の計らいで、正月3日に名古屋で持たれたクラス会には、19名が出席した。どの顔も、数年前までのギラ



ギラした感じから、どこか悟りの感じられる風情に変って来ており、頭にその証拠を示す者も多かった。南は九州、北は東京からこの日のために馳せ参じて

## 生物資源学部 第一期生 同窓会

去る1月28日 N.T.T.鳥崎苑にて生物資源学部 第一期生の同窓会が行われた。各々のつもりもつたストレスを開放できた「むっちゃ楽しい」会になり、雰囲気でもり上りました。(幹事)



## 友情らしめん

専門2回生が「仙人会」と改称して二年目、砂野正君ら関西グループが幹事役となって開かれたクラス会は11月7・8の両日、神戸市の奥座敷・有馬温泉(有馬グランドホテル)で開か

田耕平君の死亡(日4・2・25)が告げられたあと、前田尚・海上・若林・村田らを含めた5人のめい福を折って黙とうした。出席者は、大阪4、愛知4、三重7、神戸・奈良・東京・長野各1の合計19人で、殆んどがおなじみさんだった。竹内巖君が、仙人会長の風格をもって厳かな挨拶のあと乾杯、夜遅くまで懇親を深めた。



中心になって一生けんめい準備してくれた砂野正君が、前日父が急逝され、挨拶もそこそこ帰られたのは残念だった。石井清君の司会で始

援、これも仙人会の活動の一環だ。翌日は、六甲山ドライブ、大阪湾・神戸港を一望したあと神戸市立六甲山牧場(ヒツジ牧場)を見学した。チーズ工場見学の途中、「次にレンネットを入れるんだな」

## クラス会だより 農芸化学 35期 同窓会報告

農化三十五期同窓会を平成四年十一月二十二日、滋賀県は大津市石山の観光旅館「月乃家」にて行いました。そこはあの紫式部が源氏物語を執筆したお寺としても有名な石山寺の門前にあり、宿の部屋からは琵琶湖から流れ出る瀬田川の雄大な流れを一望できる素晴らしいロケーションでありました。集合時間が近づくにつれはつとつと懐かしい顔がそろい出し、参加者は最終的に女性六名男性十一名、宴会までの暫しの間近況報告や昔話などに花を咲かせておりましたが、数年前に再会する人もおりどことなくみな遠慮がちに静かな盛り上がりでありま

という声の方を見ると中北君だった。「さすが昔とった杵柄だな、俺なんか、とくに忘れてるのに……」と感心した。今年は箱根が熱海か、はたまた伊豆修善寺か、市橋君頼んまっせ。(専2 中川潔彦記)



した。そして宴会へ、宴会場は歴史を感じさせるような古い別館に用意されており少し涼しめだったのでアルコールドリンクが活躍し、おたけびをあげながら踊るひと、カラオケのマイクを離さない人、お酒をついでもわる人、そして女性のソバを離れない人など、昔ながらの盛り上がりとなり、他のお客さんには迷惑をかけたようですが、学生時代にタイムスリップしたようなとても楽しいそして懐かしい会となりました。あまりにも騒ぎ過ぎたためか会場の延長を断られたので、二次会は全員でカラオケボックスへ場所を移

心ゆくまで歌を怒鳴りたおし満了した後宿に引きあげました。翌日眠い目をこすりながら朝食を済ませた後、またの再会を約束し解散しました。今回は、私たちの担任をしていただいた嶋田先生のご都合が悪く欠席されたことは非常に残念でありましたが、予想以上に多くのかたがたに出席していただいたことはとても嬉しいことでありました。最後に参加者は次に示したかたがたでした。有宗、飯塚、石原、稲垣、磯村、川本、木藤、笹村、佐藤、杉浦、杉木、鈴木、竹島、中浦、長嶋、伊藤(三井)、三宅、山田。今回参加できなかったかたがたは次回にお会いできることを楽しみに致しております。幹事 飯塚 追伸・写真の説明(クラス担任 嶋田)

私が欠席したために、監督不行き届きで、全員揃った写真が用意出来ず、このようなスツોકケヤング達だけが横行するハメになりました。奥の間では可憐な女性達が正座して、お話しをしている様子が見えます。

## 恩師の近況 滝基次先生

滝先生が退官されてからもう二十年が過ぎましたが、その後時々研究室にいられたお話を研究している学生のアドバイザーとしておられます。先生は非常に細かい点でも面倒くさからず親切に教えて下さるので、学生達は先生の来室を心待ちに

いることもしばしばです。既に八三才になられたが、今でも独語で書かれた文献を読んでおられることもありいつも敬服しております。先生はご定年後すぐに青山高原に別荘を建てられました。私も一度利用させて頂きました。私

だが、伊勢平野を見おろせる高台にあるとても素晴らしい環境のお宅で、先生はときどき奥様と優雅な別荘生活を楽しまれて

先生にお会いする機会がなくこの記事のために先生宅に連絡を取りましたところ、半年前に骨折され治療しておられたことが分かり驚きました。先生は「年を取ったから骨が弱くなった」と笑っておられました。日頃よく散歩もよくされ、お体のことにつきましては格別のご配慮をされておられましたから、まあお元氣な姿で研究室を覗いていただけると期待しております。(記 久松)

講演者 敬氏(大1)宝酒造KK 新開 敬氏(大1)河武醸造KK 取捨役 河合美登利氏(大3)河武醸造KK社長 刀根 淳祐氏(大5)フアイザー製薬KK参事 小野 秀一氏(大7)明治乳業KK京都工場長 鈴木 潔氏(大9)森永乳業KK研究室長 鳥山(武藤)尚志氏(大11)名古屋大学教授 佐々木正興氏(大12)キッコーマンKK研究室長 松永 国義氏(大15)天野製薬KK研究室長 内藤 茂三氏(大18)愛知県食品工業技術センター主任 時田 憲章氏(大21)エーザイKK研究室主任 畑 敏男氏(大23)ゼネラルウオーターサービス専務 (応用微生物学研究室)

日時・場所 7月31日(土)11時~14時 講演会 於 三重大学生物資源学部 14時30分~16時30分 懇親会 於 三重県社会福祉会館 会費六、〇〇〇円 講演会はOB11人による「業界の現状と展望」を主なテーマとして100人以上の出席を予定しています。松嶋欽一先生はじめ研究室一同、お逢いできることを今から楽しみにしています。出席申し込みは葉書または電話〇五九二一三二一九六二。締切は6月30日までとします。(嶋田)

応用微生物学  
研究室(旧醸造学)  
OB会のおしらせ

計報 新堂 昂氏(専3)には本年一月十五日、病のためご逝去されました。慎んでご冥福をお祈り致します。